

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-180	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第一章「教育の目的及び理念」の第一条「教育の目的」・第二条「教育の目標」，および高等学校学習指導要領第2章 第8節「外国語」の第1款「目標」を実現するために，次のことがらが可能になるように編修することを基本とした。

- ①日本人，世界市民として21世紀に生きるうえでのコミュニケーション力（特に発信力・表現力）の基礎を築くこと。
- ②知識・理解にとどまらず，技能の習得・定着を図り，考え表現する力を伸ばすこと。
- ③わかりやすく学習しやすい素材と手順・方法を提供することにより，学習への意欲や英語への興味・関心を高めること。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1	趣味や将来の夢などを含む自己紹介のスピーチを行うことで，聞き手の興味を引きながら，自分自身の人柄を具体的に伝える技術を培うものとした。また，他者のスピーチからクラスメイトの新たな側面を発見し，自分自身の知らない分野や価値観についての知識，教養を身に付けられるものとした。(第1号)	9-11 頁
Lesson 2	卒業後の進路や環境問題など，心配している事柄に関するスピーチを行うことで，問題を心配する気持ちだけではなく，心配が生じた原因や理由を整理して伝え，さらに他者に提案を求めるなど，解決に向けて他者に働きかける技術を培えるものとした。(第1, 2号)	13-15 頁
Lesson 4	自分自身が大切にしているものや特別に思うものについてのプレゼンテーションを行うことで，その詳細な情報や自分自身がそのどこに価値を置くのかを整理して伝える技術を培う。また，他者のスピーチから自分自身の知らないものごとや価値観についての知識，教養を深められるものとした。(第1, 2号)	27-29 頁
Lesson 3	「自分が校長先生だったら」という想定でのスピーチを行うことで，日々の学校生活を見つめなおし，より充実した時間を過ごすためにはどのように学校を変えるとよいかを提案させる内容とした。また，提案のメリットの強調など，自身の意見を戦略的にアピールする技術を通して，自分の周囲の環境に働きかける力を培う。(第2号)	17-19 頁
Lesson 6	遠足の行先を提案するプレゼンテーションを通して，資料や統計データなどを効果的に用いながら，自身の提案を戦略的にアピールする技術を培う。また，各人の好みに応じて選ぶ余地のある企画を Model として提示することで，個性の異なるクラスメイトたち皆が楽しめる遠足を目指そうという視点を，生徒たちが獲得できるものにした。(第2号)	35-37 頁
Additional Activities: Negotiation	クラブ活動の練習場所という生徒たちに身近な話題を題材に，自分自身の状況や希望を説明する技術とともに，立場の異なる他者の状況や希望にも理解・共感を示す態度や，話し合いに参加する全ての人が納得できる答えを導く交渉の技術を培うものとした。(第2, 3号)	62-63 頁

Lesson 7	オンライン・コミュニケーションという生徒たちに身近な話題を題材に、顔の见えないオンライン・コミュニケーションではどのような問題が生じるのか、他者を尊重したやりとりにはどのような注意が必要かをグループで考えさせるものとした。また、最終的にはガイドラインとして注意点をまとめさせ、実生活でも他者を尊重する行動の実践を促すものとした。(第 3 号)	62-63 頁
Lesson 8	環境についての意見文を読んで知識を身に付けたうえで、環境のためにクラスでできる行動をグループで考えさせ、実行可能な提案をまとめるものとした。また、自分自身も環境保全のために行動すべき一人であるという視点を、生徒たちが獲得できるものにした。(第 4,3 号)	53-57 頁
Lesson 9	動物園で暮らす動物たちは幸せかという命題を賛成・反対の両方の視点から考えさせることで、動物園が人間社会で果たす役割やその功罪、動物たちの生活を人間が管理する是非など、動物の命と権利について幅広い視点から考えさせるものとした。(第 4 号)	67-71 頁
Lesson 12	近年、その重大さが認識されはじめたマイクロプラスチックの問題について、マイクロプラスチックを放出する意外なものやその深刻な問題を詳細に示し、多角的な知識を身に付けられるように構成した。また、この問題に取り組む利益と行動を起こすうえでの挑戦を考えさせ、自分自身が環境保全のために何ができるかを考えさせるものとした。(第 4 号)	91-95 頁
Lesson 5	自分が住んでいる場所以外の都道府県について、その土地の特徴や特産物を紹介するプレゼンテーションを行うことで、その場所や地域が持つ魅力を確認するとともに、視覚資料等を用いて発信する力を身につけられるものとした。(第 5 号)	31-33 頁
Lesson 10	英語を日本の公用語にするべきかという命題について、グローバル化する社会の中で、英語の公用語化が日本社会にもたらす利益と不利益について考えさせるものとした。また、公用語が社会の中でどのような役割を持つかなど、国内に暮らす人々のルーツが多様化しつつある日本社会全体について考えさせるものとした。(第 5,3 号)	73-77 頁
Lesson 11	英語では長らく名一姓の順番で名乗られてきた日本人の名前だが、日本の伝統や文化、歴史的経緯、文化庁の見解、現実の使用場面や英語で姓一名順を用いた際に起こりうる弊害といった多角的な視点からこれを再考し、日本人のアイデンティティと密接にかかわる名前について、英語で名乗る際にはどのように名乗りたいかを考えさせるものとした。(第 5 号)	85-89 頁
Creative Writing: Haiku	英語で俳句を書く活動を通して、世界で親しまれる日本文化への理解を深め、英語を創造的に使うおもしろさに気づかせるものとした。また、日本語で作った俳句を単に英訳するのではなく、英語のリズムや語感にも工夫を凝らしながら、季節の情景を描き出すよう促した。(第 5 号)	100-102 頁

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○自主・自立及び共同の精神、自国や外国の文化への理解、他者の尊重、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養育するため、身近な日常生活にとどまらず、学校、地域・社会、世界と幅広い場면을題材として扱い、自らの意見を論理的かつ効果的に発信する力や、他者の意見を尊重し、円滑で実りあるやりとりを行う力を高めることに重点を置いた。

○豊かな創造性と自分自身の意見を戦略的に表現する技術を養うため、さまざまな形式の視覚資料を用いたプレゼンテーションを活動として取り入れた。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-180	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 題材等について

- ①生徒が様々な話題について学ぶことができるように、バランスよく話題の選択をすること。そのために、身近な日常生活から学校、地域・社会、世界というように扱う範囲を広げるように配慮した。
- ②さまざまな話題を扱うために必要な語彙・表現を提示すること。そのために、Expressions, For More Use, Improvement Tips などの欄を設けて、生徒の言語活動を補助できるようにしてある。
- ③知る→考える→表現するという手順を踏まえながら、知識や理解したことを運用できるように持っていくこと。「知った」ことがら「使う」ことで定着する (intake) という考えに基づき、学習したことを生徒自身が使えるような練習を用意し、考えたり表現したりできるようにしてある。
- ④大きな枠組みとして、まずは音声や題材に関する情報提供を重視する内容から始め、その後、文字や生徒自身の情報収集を重視する活動へつなげていくこと。主として「話すこと」と「書くこと」を目的としている科目であるものの、学習指導要領の「目標」にもあるように、「聞くこと」や「読むこと」と関連させて指導するようにしてある。
- ⑤コミュニケーションをする必然性のある状況設定をし、生徒の学習への動機付けを高めるような活動を用意することで、より積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。「状況」は「場面」に限らず、話したり書いたりする「形式」(プレゼンテーション、ディスカッション等) といったことも含めて配慮してある。
- ⑥各課において、最終的にはきちんとした文章を「発表する」「書く」ことを目指すこと。そのために各課で Improvement Tips やリポーティングの例をふんだんに配置したほか、「表現するための文法」を Grammar Compass で学習・練習できるように構成した。
- ⑦さまざまな生徒や教員に対応できるように、教科書・付属教材等ともに工夫を施すこと。

### (2) 構成等について

- ①全体の構成としては、Part 1~4 では、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのそれぞれの活動に加えて簡単なライティング活動も行い、Part 5~6 ではエッセイや創造的な英文を書く活動をするというように、主に活動内容の観点からパートを分けた。また、Part 1~5 の各パートにおいては、身近な話題から徐々に社会・世界を視野に入れたものへと発展していけるよう配慮した。
- ②各 Part の最初には、論理・表現Ⅰで学習した各活動の基礎的な内容の解説を配置した。また、各 Part の最後には、各活動を行う際のより詳細な留意点や便利な表現集などをまとめたコラムを配置している。
- ③各課は、題材内容と言語材料(文法事項・機能)を密接に関連させるように構成し、両面で効果的な学習が可能ないようにした。
- ④Part 1 ではスピーチを行う。趣味や将来の夢などを交えた自己紹介や学校にまつわる内容など、ごく身近な事柄を題材として取り上げ、自分自身の人柄や意見を整理し、聞き手の興味を引きながら表現する力を培うことに重点を置いた。  
Part 2 ではさまざまな視覚資料を用いたプレゼンテーションを行う。自分にとって特別なものや日本の地域、学校の行事企画などを題材に、Show and Tell やポスター、スライドといった視覚資料を効果的に使って、自分の考えや情報をわかりやすく説明する技術を身につけられるように構成した。  
Part 3 ではディスカッションを行う。オンライン・コミュニケーションや環境保全など、比較的生徒にとっても身近に感じられる社会的な題材を取り上げ、自らの意見を論理的かつ効果的に発信する技術や、他者の意見を傾聴し円滑なやりとりを行う技術を身につけられるよう構成した。また、各単元ではグループとしての結論をまとめることも目標となっており、この目標に辿り着くために、司会者の役割についても重点を置くようにした。また、発展的な活動として、自分と他者の状況や希望に折り合いを付けながら、全ての人が納得できる結論を導き出す交渉の活動を設けた。  
Part 4 ではディベートを行う。生命倫理や政治・経済など、より社会的で高度な題材を取り上げ、論理・表現Ⅱでは「立論」から「防御」までのディベートを行う構成とした。また、ディベート中に使う表現にとどまらず、論理的思考を育む練習問題も設けることで、より内容の充実したディベート活動となるように工夫した。  
Part 5 ではエッセイライティングを行う。名前の姓名順という国際社会における日本人のアイデンティティに関する問題や、世界中で対策が急がれているマイクロプラスチックの問題など、世界を視野に入れた題材を取り上

げ、パラグラフの構成や効果的な表現方法を学びながら、自分の意見を文章で伝える技術を培う。また、発展的な活動として、世界で親しまれる日本文化のひとつである俳句を題材とした創造的なライティング活動を設けた。英語のリズムや語感に工夫を凝らしながら、俳句の翻訳活動や作品作りに取り組む。

⑤各課の構成は Part によって次のようにした。

○Part 1 (Lesson 1～Lesson 3) および Part 2 (Lesson 4～Lesson 6)

●Introduction to Speeches(Part 1)および Introduction to Presentations(Part 2): 論理・表現 I で学習した活動の基礎的な内容の解説を掲載した。

1) Warm Up: 課のトピックへの導入となる簡単な対話活動をするほか、次ページの Model を聞いて空欄補充問題を解くリスニング活動を行う。

2) Model: 実際のスピーチまたはプレゼンテーションを想定した英文で、課の題材内容・言語材料を提示している。内容理解を確認できるリスニング問題 True or False を配置したほか、Model の英文をもとに音声や文法を学べるようになっている。また、ページ下部に配置した Improvement Tips では、発表を行う際に重要となるポイントを提示している。

3) Speech(Part 1)および Presentation(Part 2): 前ページの Model や Improvement Tips を例として参照しながら、手順を追ってスピーチまたはプレゼンテーションを作成し、練習し、発表する。

4) Grammar Compass: 課の Model で学習した文法事項を整理しながら、文法を使う練習をする。

●For a Better Speech(Part 1)および For a Better Presentation(Part 2): スピーチ、またはプレゼンテーションの内容や発表の仕方、評価の観点など、より詳しい活動に関する解説を掲載した。

○Part 3 (Lesson 7～Lesson 8)

●Introduction to Discussions: 論理・表現 I で学習した活動の基礎的な内容の解説を掲載した。

1) Warm Up: 課のトピックへの導入となるリスニング活動を行った後、トピックに関する簡単な対話活動と、論理的思考を育む練習問題に取り組む。

2) Key Text: トピックの題材について異なる視点から書かれた英文を読み、論点や背景知識を学ぶ。各 Key Text の内容理解を確認する Comprehension を配置しているほか、英文をもとに音声や文法を学べるようになっている。

3) Skill Workout: トピックと関連したディスカッション例について、空欄補充問題を解いてディスカッション例を完成させた後、グループでロールプレイングを行う。ページ下部に配置した Improvement Tips では、ディスカッションを円滑に進めるための表現などを種類ごとに掲載した。

4) Discussion: トピックに関連した Discussion Question についてディスカッションを行う。前ページの Skill Workout や Improvement Tips を参照しながら、ディスカッションの手順を示したガイドにしたがってグループで対話を行う。対話をした後は、グループで話し合った内容について短い発表活動を行い、さらに自分の意見を短い英文にまとめる活動を行う。

5) Grammar Compass: 課の Key Text で学習した文法事項を整理し、文法を使う練習をする。

●For a Better Discussion: Lesson 7 のディスカッション例を元に、ディスカッションを円滑に進める心がけや表現について整理し、掲載した。

○Part 4 (Lesson 9～Lesson 10)

●Introduction to Debating: 論理・表現 I で学習した活動の基礎的な内容の解説を掲載した。

1) Warm Up: 課のトピックへの導入となるリスニング活動を行った後、トピックに関する簡単な対話活動と、論理的思考を育む練習問題に取り組む。

2) Key Text (Lesson 9) / Model Debate (Lesson 10): トピックの題材に関する賛成・反対の 2 つの立場から書かれた英文、または「立論」から「反論」までのディベート例を読み、論点や背景知識を学ぶ。各 Key Text / Model Debate の内容理解を確認する Comprehension を配置しているほか、英文をもとに文法を学べるようになっている。また、Key Text / Model Debate を素材とした練習問題も配置しており、ディベートに必要な論理的思考や論点整理力の強化を目指している。

3) Skill Workout: トピックと関連したディベート例について、空欄補充問題を解いてディベート例を完成させた後、グループでロールプレイングを行う (Lesson 10 では論点整理の問題に取り組む)。また、ページ下部に配置された Improvement Tips では、ディベートで用いる表現や取り組む際の工夫を掲載している。

4) Debate: トピックに関連した Proposition についてディベートを行う。前ページの Skill Workout や Improvement Tips を参照しながら、ディベートの手順を示したガイドにしたがって、グループでディベートを行う。ディベートをした後は、グループで討論した内容について短い発表活動を行い (Lesson 9 のみ)、さらに自分の意見を短い英文にまとめる活動を行う。

5) Grammar Compass: 課の Key Text で学習した文法事項を整理し、文法を使う練習をする。

●For a Better Debate: ディベートの準備方法や司会進行、質問など、より詳しい活動に関する解説を掲載した。

○Part 5 (Lesson 11～Lesson 12)

●Introduction to Essay Writing: 論理・表現 I で学習した活動の基礎的な内容の解説を掲載した。

- 1) Introduction: 課のトピックへの導入となる短い文章を読む。
  - 2) Warm Up: 課のトピックについて理解を深めるリスニング活動を行った後、トピックに関する簡単な対話活動に取り組む。
  - 2) Key Text: トピックの題材について異なる視点から書かれた英文を読み、論点や背景知識を学ぶ。各 Key Text のパラグラフ構成を確認する Comprehension を配置しているほか、エッセイで使える効果的な表現方法を Improvement Tips に、トピックに関するより詳細な情報を For More Information として掲載している。また、Key Text の英文をもとに文法を学ぶ。
  - 3) Preparation: Improvement Tips で学んだ内容を身に付ける練習問題に取り組んだ後、ライティングの準備として、トピックに関する情報を集める活動に取り組む。
  - 4) Essay Writing: 前ページの Key Text や Improvement Tips を参照しながら、手順を追ってアウトラインを作成し、エッセイを作成する。
  - 5) Grammar Compass: 課の Key Text で学習した文法事項を整理し、文法を使う練習をする。
- For Better Essay Writing: 複数パラグラフのエッセイ例を元に、パラグラフの構成やエッセイの準備方法など、より詳しい活動に関する解説を掲載した。

⑥英語を聞く力を強化するため、巻末には各 Lesson のトピックに関連した難易度の高いリスニング問題を Give It a Shot として掲載した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容 第2款 第5論理・表現Ⅱ 2内容, 3内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
Introduction to Speeches	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア, ②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ)	8頁	※
<b>Lesson 1</b>			
Warm Up	2(3)①イ(ア), ②ア(ア)	9頁	3
Model	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ,オ)	10頁	
Expressions / True or False	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア	10頁	
Sounds / Grammar	2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ)	10頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	10頁	
Speech	2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア), イ(ウ,エ,オ)	10頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	10頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ,エ)	12頁	
<b>Lesson 2</b>			
Warm Up	2(3)①イ(ア), ②ア(ア)	13頁	3
Model	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ,オ)	14頁	
Expressions / True or False	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア	14頁	
Sounds / Grammar	2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ)	14頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	14頁	
Speech	2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア),イ(イ,ウ,エ,オ)	15頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	15頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア), ②ア(ア),イ(イ,ウ,エ)	16頁	
<b>Lesson 3</b>			
Warm Up	2(3)①イ(ア), ②ア(ア)	17頁	3
Model	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,エ)	18頁	
Expressions / True or False	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア	18頁	
Sounds / Grammar	2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ)	18頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	18頁	
Speech	2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア), イ(イ,エ)	19頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	19頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ,エ)	20頁	
For a Better Speech	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア), イ(ア,イ,ウ)	21-23頁	※
Speaking & Listening Project①	2(3)②イ(ア)	24頁	※
Introduction to Presentations	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア, ②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ)	26頁	※

<b>Lesson 4</b>			
Warm Up	2(3)①イ(ア), ②ア(ア)	27 頁	3
Model	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	28 頁	
Expressions / True or False	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア	28 頁	
Sounds / Grammar	2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ)	28 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	28 頁	
Presentation	2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	29 頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	29 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ)	30 頁	
<b>Lesson 5</b>			
Warm Up	2(3)①イ(ア), ②ア(ア)	31 頁	3
Model	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	32 頁	
Expressions / True or False	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア	32 頁	
Sounds / Grammar	2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ)	32 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	32 頁	
Presentation	2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	33 頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	33 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ)	34 頁	
<b>Lesson 6</b>			
Warm Up	2(3)①イ(ア), ②ア(ア)	35 頁	3
Model	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	36 頁	
Expressions / True or False	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア	36 頁	
Sounds / Grammar	2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ)	36 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	36 頁	
Presentation	2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	37 頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	37 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(イ),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	38 頁	
For a Better Presentation	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	39-41 頁	※
Speaking & Listening Project②③	2(3)②イ(ア)	42-44 頁	※
Introduction to Discussions	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア, ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	46 頁	※
<b>Lesson 7</b>			
Warm Up	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア), ②ア(ア,イ),イ(イ,ウ,エ,オ)	47 頁	6
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	47 頁	
Key Text 1, 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	48,49 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	48,49 頁	
Comprehension	2(2)ア	48,49 頁	
Grammar / Sounds	2(1)ア(ア,イ) / 2(3)②イ(ア)	48,49 頁	
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	50 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ,オ)	50 頁	
Discussion	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(イ),エ(ア), ②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	51 頁	
For Your Use Grammar Compass	2(3)②ア(ウ) ②イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	51 頁 52 頁	
<b>Lesson 8</b>			
Warm Up	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア), ②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	53 頁	6
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	53 頁	
Key Text 1, 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ), ②イ(ア,ウ,エ,オ)	54, 55 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	54,55 頁	
Comprehension	2(2)ア	54,55 頁	
Grammar / Sounds	2(1)ア(ア,イ) / 2(3)②イ(ア)	54,55 頁	
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	56 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(イ,ウ,エ,オ)	56 頁	
Discussion	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(イ),エ(ア), ②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	57 頁	
For Your Use Grammar Compass	2(3)②ア(ウ) ②イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	57 頁 58 頁	
For a Better Discussion	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア,イ), ②ア(ウ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	59-61 頁	※
<b>Additional Activities: Negotiation</b>			
Step 1	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,ウ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	62 頁	2

Step 2	2(3)②ア(ア,イ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	62 頁	
Step 3	2(1)ア(ア,イ), 2(3)②ア(ア,イ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	63 頁	
Step 4	2(1)ア(ア,イ) 2(2)イ 2(3)①イ(ア,イ), ②ア(ア,イ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	63 頁	
Speaking & Listening Project④	2(3)②イ(ア)	64 頁	※
Introduction to Debating	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア, ②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	66 頁	※
<b>Lesson 9</b>			
Warm Up	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア), ②ア(ア,イ),イ(ウ,エ)	67 頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	67 頁	
Key Text 1, 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ), ②イ(ア,ウ,エ)	68, 69 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	68, 69 頁	
Comprehension / Grammar	2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ)	68, 69 頁	
Preparation for a Debate	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②イ(ウ,エ)	69 頁	7
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,ウ,エ)	70 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,ウ,エ)	70 頁	
Debate	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),エ(ア), ②ア(ア,イ),イ(ア,ウ,エ)	71 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ)	72 頁	
<b>Lesson 10</b>			
Warm Up	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア), ②ア(ア,イ),イ(ア,ウ,エ)	73 頁	
For Your Use	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	73 頁	
Model Debate 1,2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ,ウ), ②イ(ア,ウ,エ)	74, 75 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	74, 75 頁	
Comprehension / Grammar	2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ)	74, 75 頁	
Preparation for a Debate	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ)	75 頁	7
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,ウ,エ)	76 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,ウ,エ)	76 頁	
Debate	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),エ(ア)	77 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ)	78 頁	
For a Better Debate	2(1)ア(ア,イ),②イ 2(3)①イ(ア,イ), ②ア(ウ), イ(ア,ウ,エ,オ)	79-81 頁	※
Speaking & Listening Project⑤	2(3)②イ(ア)	82 頁	※
Introduction to Essay Writing	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア, ②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	84 頁	※
<b>Lesson 11</b>			
Introduction	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ウ)	85 頁	
Warm Up	2(1)ア(イ) 2(3)①イ(ア), ②ア(ア,イ),イ(ウ,エ)	85 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	85 頁	
Key Text 1, 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	86,87 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(イ,ウ,エ)	86,87 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	86,87 頁	
Points	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	86,87 頁	
Grammar	2(1)ア(ア,イ)	86,87 頁	6
For More Information	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ)	86,87 頁	
Comprehension	2(2)ア	87 頁	
Preparation	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ	88 頁	
Essay Writing	2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア,イ), ②ア(ア,イ)	89 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	90 頁	
<b>Lesson 12</b>			
Introduction	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ウ)	91 頁	
Warm Up	2(1)ア(イ) 2(3)①イ(ア), ②ア(ア,イ),イ(ウ,エ)	91 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	91 頁	
Key Text 1, 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	92,93 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,オ)	92,93 頁	
Expressions	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	92,93 頁	
Points	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	92,93 頁	
Grammar	2(1)ア(ア,イ)	92,93 頁	6
For More Information	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ)	92,93 頁	
Comprehension	2(2)ア	93 頁	
Preparation	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ	94 頁	
Essay Writing	2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア,イ), ②ア(ア,イ)	95 頁	
Grammar Compass	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	96 頁	
For Better Essay Writing	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①エ(ア,イ), ②ア(ウ), イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	97-99 頁	※

<u>Creative Writing: Haiku</u>			
Step 1	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	100 頁	2
Step 2	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	101 頁	
Step 3	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	101 頁	
Step 4	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	102 頁	
Season Words	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ),ウ	102 頁	
Speaking & Listening Project⑥	2(3)②イ(ウ)	103 頁	※
Give It a Shot	2(2)ア 2(3)ア(ウ),イ(ウ,イ,ウ,エ)	106-109 頁	※
		計	60

<注>\*総授業数は、週 2 時間、年間約 30 週として計算し、60 時間とした。

\*各 Part 前後のコラム、Speaking & Listening Project, Give It a Shot については各学校での弾力的運用を想定している。(※)

③ 常用漢字以外の使用漢字一覧表

竿	蛙
30 ページ	100 ページ
笠	芭蕉
32,34,106 ページ	100 ページ
敲	濡
49, 113, 117 ページ	101 ページ
辿	柑
59 ページ	101 ページ
翔	皐
59, 60, 118 ページ	101 ページ
檻	蝶
67, 69, 114, 118 ページ	101 ページ
李	勿
85,115 ページ	102 ページ
鎬	牡蠣
85,115 ページ	102 ページ
范	晦
85,115 ページ	102 ページ
冰	綾
85,115 ページ	117 ページ
颯	
90 ページ	



	鬼ごっこをする生徒 植物園の散策	写真 写真						pixta_32520343 Photo library 5441992
36	スライドを使うMiho	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
38	プレゼンテーションをするMiho プレゼンテーションをするKazuki プレゼンテーションをするKay プレゼンテーションをするBob (上) プレゼンテーションをするBob (中) プレゼンテーションをするBob (下)	挿絵 挿絵 挿絵 挿絵 挿絵 挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明
39	プレゼンテーションをするBob プレゼンテーションをするMiho (上) プレゼンテーションをするMiho (下) プレゼンテーションをするKay (上) プレゼンテーションをするKay (下)	挿絵 挿絵 挿絵 挿絵 挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明
40	ちゃんぽんを作る料理人	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
42	Miho Kenta	挿絵 挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明
46	ディスカッションをする生徒たち	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
47	ShotaにスマホをみせるMiho	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
48	Social MediaとEriko	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
49	Social Mediaについて話し合う生徒	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
50, 56, 59, 60, 70, 73-76	Miho, Kenta, Shota, Eriko, Kazuki, Kay	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
51, 57, 71, 77	Miki, Rika, Nao, Tomo, Kaito	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
52	1学期を振り返っている男の子	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
53	手に乗ったペットボトルキャップ 環境にいい行動を考えるBob	写真 挿絵						Photo library 2549903 きたむらイラストレーション 北村信明
54	ごみ処理について考える男の子	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
55	電気を消す女の子	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
56	グリーンカーテン	写真						pixta_2972124
67	檻の中のトラ	写真						pixta_48960835
68	エサを食べる象とそれを見る客	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
69	檻の中のライオン	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
72	リビングで過ごすMihoの家族 お父さんに話しかけるMiho	挿絵 挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明
73	勉強をするフィリピンの学生	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
78	暗い部屋でゲームをするKazuki	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
80	ディベートの風景	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
85	外国人と話すMiho	挿絵						きたむらイラストレーション 北村信明
86	姓名順で名乗る国々 Kovacs Zoltan	挿絵 写真						編集委員会 GettyImages-1154813784
88	Sarah Hughes パリオリンピック女子やり投げの結果	写真 写真						pixta_49626478 aflo_263462855
91	手に乗ったマイクロプラスチック	写真						GettyImages-1298726297

92	合成繊維の服とマイクロプラスチック Chris Amster	挿絵 写真					きたむらイラストレーション 北村信明 GettyImages-1188841221
93	The Great Pacific Garbage Patch Morgan Kelly	挿絵 写真					きたむらイラストレーション 北村信明 pixta_70804501
96	Boyan Slat	写真					GettyImages-453156478
100	カエル	写真					素材辞典 vol. 82 No. 62
101	夏みかん サツキとチョウ ランドセルを背負った子供たち ヒマワリ 紅葉と親子 ほころんだ梅のつぼみ	写真 写真 写真 写真 写真 写真					pixta_8817642_M pixta_4738720_M pixta_18222861 pixta_16959849 pixta_2021725 pixta_99618913
102	紅葉 イチゴ 花火 白鳥 雲	写真 写真 写真 写真 写真					写真AC e96862635b61b07cf0dc209cb0556e0e_s 写真AC 5a658df8fcc70867595c96ea49386813_s 写真AC 1659a1060db91580ce13edfd9a26a666_s 写真AC 1bec18e515a72210dd036725353c80c9_s 写真AC ca3cc57d09c6b8b3dba350f408abe168_s
後見返し	Larry Walters 飛行する鳥	挿絵 挿絵					きたむらイラストレーション 北村信明 きたむらイラストレーション 北村信明

\*上記以外はすべて自社作成です。

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

## ⑧発音記号の表記に関する方針

1. 米音と英音が異なる場合には，米音を基本的に表記した。

2. 標準発音については，次の3つの辞書を参照した。

GENIUS English-Japanese Dictionary (第4版)

GENIUS English-Japanese Dictionary (第5版)

GENIUS English-Japanese Dictionary (第6版)

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	9	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.10に記載のModel, Sounds, Improvement Tipsの文字情報, および音声	別紙1参照
2	13	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.14に記載のModel, Sounds, Improvement Tipsの文字情報, および音声	別紙2参照
3	17	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.18に記載のModel, Sounds, Improvement Tipsの文字情報, および音声	別紙3参照
4	24	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.24に記載のストレス・パタン (単語), ストレス・パタン (チャンク) の文字情報, および音声	別紙4参照
5	27	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.28に記載のModel, Sounds, Improvement Tipsの文字情報, および音声	別紙5参照
6	31	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.32に記載のModel, Sounds, Improvement Tipsの文字情報, および音声	別紙6参照
7	35	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.36に記載のModel, Sounds, Improvement Tipsの文字情報, および音声	別紙7参照
8	42	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.42に記載の英語のリズムの文字情報, および音声	別紙8参照
9	44	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.44に記載の音の変化①の文字情報, および音声	別紙9参照
10	47	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.48,49に記載のKey Text 1, Key Text 2, Soundsの文字情報, および音声	別紙10参照
11	53	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.54,55に記載のKey Text 1, Sounds, Key Text 2の文字情報, および音声	別紙11参照
12	62	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.62に記載のStep 2の文字情報, および音声	別紙12参照
13	64	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.64に記載のイントネーションの文字情報, および音声	別紙13参照
14	67	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.68,69に記載のKey Text 1, Key Text 2の文字情報, および音声	別紙14参照
15	73	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.74,75に記載のModel Debate 1, Model Debate 2の文字情報, および音声	別紙15参照
16	82	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.82に記載の音の変化②の文字情報, および音声	別紙16参照
17	85	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.85-87に記載のIntroduction, Key Text 1, Key Text 2の文字情報, および音声	別紙17参照
18	91	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.91-93に記載のIntroduction, Key Text 1, Key Text 2の文字情報, および音声	別紙18参照
19	100	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.100,101に記載のStep 1, Step 2の文字情報, および音声	別紙19参照
20	103	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	p.103,104に記載の音の変化③の文字情報, および音声	別紙20参照

# 別紙 1

Lesson 1 Model	>
Lesson 1 Sounds	>
Lesson 1 Improvement Tips	>

## 別紙 1 p.10 Lesson 1 Model

< Lesson 1 Model

Hello, everyone. My name is Gregory Durand. Can you guess where I'm from? Yes, I'm from Australia, and my hometown is Brisbane. I like scuba diving and solving number-placement puzzles! If you don't know about these puzzles, I will explain about them later. However, what I like most is taking care of animals, such as koalas, wallabies, and wombats. They are all beautiful in their own way, aren't they? I once worked as a volunteer in a zoo, and learned a lot about them. Ask me anything about them. I want to be a vet; more specifically a koala specialist. I want to work in a wildlife sanctuary and help to keep the animals there healthy and safe. I believe taking care of animals is taking care of the earth. Thank you.

▶ ◻ speed interval timer

## 別紙 1 p.10 Lesson 1 Sounds

< Lesson 1 Sounds

単語や複合語のストレス・パターンに注意して発音しよう。

hello   Australia   scuba diving   wallabies   wildlife   sanctuary  
●   ●

## 別紙 1 p.10 Lesson 1 Improvement Tips

< Lesson 1 Improvement Tips

Good afternoon, everyone. I'm Morita Kazuki. Do you like swimming? I like swimming very much. I've been working as a volunteer lifeguard in swimming pools for two years, and I want to help children experience the joy of swimming. I want to make many friends in this class and enjoy my school life. Thank you for listening.

▶   ■   speed   interval   timer

## 別紙 2

### Model

### Sounds

### Improvement Tips

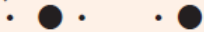
#### 別紙 2 p. 14 Lesson 2 Model

Have you ever thought about your future? I'm worried about my future career just as most of you are concerned about what you will do after you graduate from high school. I wanted to be a professional soccer player, but I've found it's not a realistic choice. Frankly, I don't know what I want to do in the future. However, one of my friends, Yumi, had already decided on her major at university when I met her this past April. Now she knows what she wants to do in the future. I heard she had been thinking about what to do after she graduates. I was inspired by her and now I'm trying to find a future career that is perfect for me. I would like to hear your comments or advice, and it would be great if we could share our ideas.

#### 別紙 2 p. 14 Lesson 2 Sounds

句の意味のまとまりと音の強弱に注意して発音しよう。

my future career



a soccer player



one of my friends



#### 別紙 2 p. 14 Lesson 2 Improvement Tips

Is there anything that you are worried about? I'm worried about climate change. One crisis we are facing today is global warming. What problems will it cause? First, some countries will sink due to the rising sea level. Second, a lot of land is drying up and becoming desert. To reduce the damage to the earth, we have to be more careful.

## 別紙 3

### Model

### Sounds

### Improvement Tips

#### 別紙 3 p. 18 Lesson 3 Model

Look around you. Girls, girls, girls! Yes, this is a girls' school. I like this school, but have you ever imagined having boys in our school? If I were the principal, I would change our school to coeducational. As you know, I am in the school chorus, and always enjoy singing beautiful songs with the other members. Still, I sometimes wish we had male voices to enrich our songs. The drama club would also enjoy the benefit of having boys as members, I guess. Additionally, when we discuss issues in class, we could experience a wider variety of ideas. And of course, it would be fun to talk about many things with boys and become good friends with them. So, if I were the principal, I would invite male students to enter our school. Thank you for listening.

#### 別紙 3 p. 18 Lesson 3 Sounds

語と語を自然につなげて一息で発音しよう

Look around you.

Have you ever imagined having boys in our school?

#### 別紙 3 p. 18 Lesson 3 Improvement Tips

Lunch time is very important for everyone at school. If I were the principal, I would build a school cafeteria. If we had a cafeteria, we could have hot lunches. It would be nice to eat hot ramen on a cold winter day. Also, I'm sure many parents would like the idea because they wouldn't need to make a lunch box every day. Don't you think it would be a good idea to have a school cafeteria? I would build one if I were the principal. Thank you.

## 別紙 4

S&L 1 ストレス・パターン (単語) >

S&L 1 ストレス・パターン (チャンク) >

## 別紙 4 p.24 Speaking and Listening Project 1 ストレス・パターン (単語)

< MSLE11S&L1 ストレス・パターン

英語の単語には、強く長く発音される部分と弱く短く発音される部分があり、前者をストレス（強勢）といいます。単語を発音するときはストレスの位置に注意して発音すると、カタカナ発音にならず、英語らしく聞こえるようになります。このストレス・パターンは、単語だけでなく、一区切り（チャンク）で発音される語句や文などでも同様に現れます。  
※ ここでは英語らしい音の特徴を示すために、語（句）の中で一番強い音のみを「」で示し、それ以外の音は「・」で示しています。

● book      job      get

●・ mother      message      entrance

・● Japan      occur      event

● ● ● | basketball restaurant festival

---

● ● ● | important permission relaxing

---

● ● ● | understand introduce volunteer

---

● ● ● ● | dictionary television interesting

---

● ● ● ● | activity American investigate

---

● ● ● ● | information generation entertainment

---

● ● ● ● | misunderstand superimpose

---

● | Yes. Please.

● ● | Thank you. Read it.

● ● | my book Wake up.

● ● ● | all of you Look at me.

● ● ● | my sister I'm hungry.

● ● ● | on the wall in the end

● . . . millions of them Listen to me.

---

. ● . . your family She's marvelous.

---

. . ● . by the window Take it easy.

---

. . . ● under the tree Good afternoon.

---



## 別紙 6

### Model

### Sounds

### Improvement Tips

#### 別紙 6 p. 32 Lesson 5 Model

Look at this: it is a map of Japan. How many prefectures are there? Yes, there are 47 prefectures. Each prefecture has its own features. Today, I'm going to talk about Tokyo.

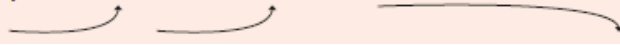
Tokyo is located in the middle of the Japanese archipelago, and has the largest population: about 14 million. It is Japan's political, economic, and industrial center.

Downtown Tokyo has lots of busy and lively areas. One example is Shinjuku. It has many tall modern office buildings, department stores, restaurants, and hotels. And one of Tokyo's traditional areas is Asakusa. Sensoji Temple attracts millions of visitors every year. Tokyo also has abundant natural scenery, like the mountainous areas of Oku-tama and the tropical beauty of the Ogasawara Islands. The islands are one of the two places in Tokyo that have been recognized as World Heritage Sites. Tokyo's most charming feature is the unique mixture of modernity, tradition, and nature.

#### 別紙 6 p. 32 Lesson 5 Sounds

列挙するときの読み方に気をつけよう。

It is Japan's political, economic, and industrial center.



#### 別紙 6 p. 32 Lesson 5 Improvement Tips

Let me talk about Hyogo Prefecture. It is located in the western part of Japan, to the west of Osaka. Its population is about 5,430,000. It is rich in nature: It faces two seas, the Seto Inland Sea and the Japan Sea, it has mountainous areas in its center, and it has a big island called Awaji Island. Among the famous places and things in Hyogo Prefecture are Himeji Castle, a World Heritage Site; Arima Onsen, a popular hot spring area; fried octopus balls in Akashi City, and Kobe beef. I highly recommend that you visit these places.

## 別紙 7

### Model

### Sounds

### Improvement Tips

#### 別紙 7 p. 36 Lesson 6 Model

For our class outing next month, let's spend a whole day in Midori Nature Park! Please have a look at my plan. Here it is. First, we're going to have a BBQ in the park. It will be less crowded than on weekends, and also, a 20% discount is offered for large groups. After that, let's all play together in the park! Why don't we play tag there? The more people, the more fun it will be. This is going to be the most exciting game of tag you have ever experienced! Or, if you prefer a relaxing activity, seeing beautiful flowers at the botanical gardens in the park would be a better option for you.

Anyway, as we have few chances to play outside these days, I recommend spending a day outdoors. We can talk much more than usual and create one of the best memories of our high school years. I'm sure no other plan is more enjoyable than this!

#### 別紙 7 p. 36 Lesson 6 Sounds

語と語を自然につなげて発音しよう。

for our class outing

have ever experienced

a better option

more enjoyable

#### 別紙 7 p. 36 Lesson 6 Improvement Tips

My presentation is about overseas school trips. These days, more and more high school students visit foreign countries on school trips. I think it's a good trend, and I expect more students have chances to go abroad in the future. I'll give you some reasons. First, this will be a great opportunity to learn about foreign cultures and experience different perspectives. Second, ....

日本語は一字一字がほぼ同じ長さで発音されるので、文字数が増えると発音にかかる時間も長くなります。

その子はリンゴを食べた  
○○○○○○○○○○○○

その子はリンゴを食べつづけている  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

一方英語では、強く読まれる●の数と同じであれば、単語数が増えても発音にかかる時間はほぼ同じです。

The child ate an apple.  
. ● ● . ● .

The child has been eating an apple.  
. ● . . ● . . ● . .

次の対話を見てみましょう。強く発音する位置を間違えると、言いたい内容が相手に伝わりません。



Miho

The ..... to .... to the ..... to ..... her .....

What?



Kenta



..... boys decided ... go ..... museum .... see ... picture.

I see.



The boys decided to go to the museum to see her picture.  
. ● . . ● . . ● . . ● . . ● . .

基本的に、英語では次のルールのように、伝えたい内容の語を強く発音します。強い部分(●)が等間隔で発音されると、英語らしいリズムが生まれます。

意味内容のある語：名詞や動詞など  
→強くはっきりと発音する(●)  
ストレス・パターンは常に守られる  
語と語をつないで関係を示す語：前置詞や接続詞など  
→弱くあいまいに発音する(・)

意味内容のある語がはっきり聞こえるよう、●の位置を意識し、手をたたきながら発音してみましょう。

How about having a cup of coffee?  
● . ● . ● . ● .

Then, discuss the matter again.  
● . ● . ● . ● .

You don't have to worry too much.  
● . ● . ● . ● .

I hope that everything will be fine after all.  
● . ● . ● . ● . ● .

弱くあいまいな音

「英語のリズム」(pp. 42-43)で見たように、自然な英語では●(強くはっきり発音される場所)が等間隔に現れます。そのとき、●と●の間を埋める・(弱く短く発音される場所)にあたる語は、単独で発音するときとは異なり、弱くあいまいな音 /ə/ になるのが原則です。

The child was eating an apple. the, was, an が弱くあいまいな音に

The boys decided to go to the museum to see her picture. the, to, her が弱くあいまいな音に

弱くあいまいな音を含む語の例

be 動詞	am, is, are, was, were, been	前置詞	at, for, from, in, of, to
		代名詞	he, she, you, his, her, them
助動詞	will, would, can, could, must, shall, should	接続詞	and, but, that

文末や強調する場合など、これらの語が、やや強くはっきり聞こえるように発音されることもあります。

A: What are you looking for?

A: Who is coming next?

B: I'm looking for my key.

B: Becky is.

練習するときに /ə/ を意識すると、つい力が入ってしまいます。あくまで●(強くはっきり発音される場所)が等間隔になるよう、英語のリズムに注意しましょう。

別紙 10

Key Text 1

Key Text 2

Sounds

別紙 10 p. 48 Lesson 7 Key Text 1

*Eriko sent a message to Kaito and Yuri, who attend different schools, to ask their opinions about managing social media groups.*

**Eriko's message**

Kaito and Yuri, how are you doing? I want to ask for your input on an issue.

In my class, we have a social media group. There, we often share information and photos. However, we have some problems. One problem is that some students exchange messages very late at night. Another problem is that not everyone belongs to the group. I sometimes worry about some students not getting important information shared by classmates in the group. Also, I once regretted posting a personal photograph of a classmate without getting her permission. I was ashamed of having sent it to everyone. In fact, this kind of problem comes up a lot in the group, and it is most likely the reason that relationships among some classmates have not been very good recently.

Kaito and Yuri, do you have such a social media group in your school? If you do, what precautions do you take when interacting in this kind of group?

別紙 10 p. 49 Lesson 7 Key Text 2

**Kaito's reply:**

Eriko, yes, we do have a social media group in my class. We used to have the kinds of problems you talked about. We discussed the problems and now we have the following guidelines:

- (a) We must not send messages between 9:00 p.m. and 6:00 a.m.
- (b) We must avoid posting personal photographs on social media without getting permission.
- (c) We must not use emotional language and we must proofread our messages before sending them.

What do you say to discussing guidelines like these with your classmates?

**Yuri's reply:**

In my class, we are not allowed to create social media groups. The reason is that problems like you experienced can occur in such groups because everyone uses social media in different ways. Also, we have come to a common understanding that important information should be shared face-to-face in our classroom, not in a social media group. I suggest discussing whether using a social media group is the best way for your class to communicate.

強調や否定のことばなど，意見を伝えるうえで重要な語は明確に発音しよう。

we **do** have

We must **not** send

**without** getting permission

we are **not** allowed to create

別紙 11

Key Text 1

Sounds

Key Text 2

別紙 11 p. 54 Lesson 8 Key Text 1

*The following school newspaper article introduces an idea about what to do with garbage.*

November 22, 2027

**The Asahi Senior High School Times**

**What happens to the garbage you throw away?**

Four or five times every week, garbage trucks come to your town to collect whatever you throw away. It goes to an incinerator or a landfill, but nothing really disappears completely. And not everything can be recycled. The idea of throwing something away and making it disappear is just an illusion. You can only relocate it.

When you go shopping, stop to think about what will happen in two or three years to the items you buy. It might be hard for you to imagine the day when an item will be thrown away while you are enjoying shopping for it. However, you should remember to take a deep breath and think twice before buying it. Do you really need it? How long will it last? Can it be reused or recycled?

You may think such an action cannot make any difference to society, but that's not true. Small changes are what eventually shift a whole society.

別紙 11 p. 54 Lesson 8 Sounds

聞き手にも意味のまとめや文の構造がわかるように読んでみよう。

The idea / of throwing something away / and making it disappear / is just an illusion.

When you go shopping, / stop to think / about what will happen / in two or three years / to the items you buy.

*The following are students' opinions about garbage from the school newspaper.*

### Readers' Voices

One of my friends did a homestay in Germany, which is well known for its strict garbage separation rules. He was surprised to find that there were seven categories of garbage. Even bottles were divided into three types: colorless, brown, and green. If the same rules were to be applied here in Japan, lots of people would be confused.

Daiki

For the reduction of garbage, the 3Rs are essential: reduce, reuse, and recycle. If we reduced the amount of waste, reused a thing many times, and recycled paper or bottles, our earth would change a lot in half a century. If even one of these suggestions were to be carried out, it would be a good start.

Mami

I often think of the environment. The other day, I browsed through some websites on eco-friendly lifestyles. Some recommendations are easy to follow — for example, “Use electric appliances only when you need them,” or “Use your own shopping bag.” However, others are harder, such as “Buy reusable products,” or “Encourage your school to print documents with soy-based ink, which is less toxic.” Anyway, all individuals, as well as nations, have to do their utmost.

Aya

### 希望・条件を伝える

I would prefer (that) .... (私としては、...だと望ましいです。)

I would be in trouble if .... (もし...だと困ることになるんです。)

Is it possible for you to ...? (あなたが...することは可能ですか?)

### 交渉内容に同意・反対する

That will be possible [acceptable]. (その条件なら大丈夫です [受け入れられます]。)

It's a deal! (決まりですね!)

It's hard to say this, but .... (言い辛いのですが、...。)

That's a great suggestion, but .... (それはいい提案ですが、...。)

I understand your problem, but ... (あなたの問題はわかりませんが、...。)

### 条件をすり合わせる

I would agree with you if you could .... (もしあなたが...できるなら、同意できます。)

In return (for + 名), I will .... ((名の) 見返りに、...しますよ。)

OK, I will ... this time, but next time, you should ~.

(わかりました、今回は私が...しますが、次回はあなたが~してくださいね。)

### FALL(下降)

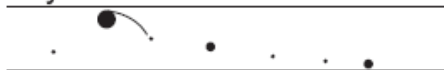
肯定文では多くの場合、文に現れるストレスのうち、最後のところで声がいったん高くなってから低くなります。聞き手にとってはそこが際立つので、他の●(強く長く発音される部分)は少し小さく感じられます。

My brother went to the zoo. (私の弟は動物園に行ったよ。)



話し手の意図によっては他の部分を際立たせることもあります。

My brother went to the zoo. (動物園に行ったのは私の弟です。)



だれが動物園に行ったのかを強調したい

### RISE(上昇)

会話では、肯定文の語順のままに質問することもよくあります。

My brother went to the zoo? (私の弟が動物園に行ったの?)

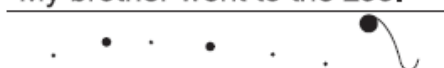


質問する

### FALL-RISE(下降上昇)


まだ話が続くような含みのある印象を与えます。

My brother went to the zoo. (私の弟は動物園に行ったけど…)



何かまだ言い残していることがある

My brother went to the zoo, but he couldn't see the panda.



*Kenta wrote an article on zoos for the school newspaper.*

### **The Asahi Senior High School Times**

#### **Opinion: Zoos for Animals and Humans**

By Kenta Miura December 7, 2027

Some people criticize zoos these days. Others, however, enjoy watching animals go about their daily routines, such as during feeding time. Observing animals' behavior, people can learn a lot about nature at zoos. Moreover, zoos are good for animals because most animals there are happy. There are many reasons for this.

First, zoos provide animals with great care and protection. Workers keep the zoo clean, so it is more comfortable than their natural habitats. Animals can sleep safely in cages at night without fear of being attacked by other animals.

Second, animals kept in zoos tend to live longer. With proper nutrition and safety from severe injury or disease, animals have fewer chances of dying when they are very young. This results in a longer lifespan for animals in zoos.

Lastly, staff workers and veterinarians almost always keep an eye on animals in zoos. Therefore, they can live happier and more relaxed lives for a longer time without having to be afraid of enemies or succumbing to disease.

These are just a few reasons out of many why zoos are beneficial. I firmly believe that zoos are good for both animals and humans.

*After reading Kenta's article, Asumi wrote an article from another point of view.*

#### **Opinion: Where Are Animals Happiest?**

Zoos are places to show animals to visitors. The animals are caged and unhappy. Here are some reasons why animals in zoos are not happy.

Firstly, zoos are too small for most of the animals. For instance, animals in the wild have to travel long distances looking for food. However, animals in zoos are fed every day. The lack of exercise is stressful and may make them sick.

Secondly, zoo animals get bored looking at the same scenery every day. Although zoos are interesting places for people, they are not for the animals. Zoos deprive animals of the freedom to move around. This is a form of animal abuse.

Lastly, animals are happy in the wild because they have always lived there. Some modern zoos protect and raise animals so that they can eventually be returned to nature. However, most captive animals cannot learn all of the skills necessary to live in the wild because they are always in cages.

Many other reasons could be given to support this idea, too. I believe it is wrong to keep animals in zoos.

**Kazuki (Chairperson):**

Hello, everyone. My name is Kazuki. The proposition for this debate is: English should be an official language in Japan. We will now begin the debate with the affirmative constructive speech.

**Eriko (A1 / the Affirmative Constructive Speech):**

Thank you, Chairperson. My name is Eriko. We on the affirmative side believe that English should be an official language in Japan. I'll give two reasons.

First, English offers us more opportunities to do business with foreigners. If we use English, it will be easier to sell both products and services overseas.

Second, according to ABC Magazine, 70 percent of all foreign tourists visiting Japan said that they could have enjoyed their trips more if there were more English assistance. Adopting English as an official language will be beneficial for foreigners who live or stay in Japan. If we use English, we can help those who are not familiar with the Japanese language, which is difficult for them to learn.

For these reasons, we strongly insist that English should be made an official language in Japan.

**Kazuki:**

We will now hear the negative constructive speech.

**Shota (N1 / the Negative Constructive Speech):**

Thank you, Chairperson. My name is Shota. We on the negative side don't believe that English should be an official language in Japan for two reasons.

First, it will cause confusion. Adopting English as an official language doesn't mean that all people would be able to speak it. Some people will keep using only their mother tongue and won't learn English, so they may have difficulty understanding information provided in English.

Next, the cost of translation will be high because all official documents, including laws and ordinances, would have to be translated into English.

Therefore, few people think it's a good idea to adopt English as an official language in Japan.

**Kazuki:**

We will now hear the negative rebuttal speech.

**Miho (N2 / the Negative Rebuttal):**

Thank you, Chairperson. My name is Miho. Let me rebut what the affirmative team said.

Their first point was about business opportunities. They said English would give us more opportunities to do business with foreigners. However, that's not necessarily true. We can do business with foreigners smoothly with the help of interpreters. So, we don't need English to be an official language.

Their second point was convenience for foreigners. They said Japan will be a more convenient place for them if we speak English. However, this is not always true, because there are many foreigners who do not understand English. We would need to learn various languages if we want to be friendly to all foreigners.

Therefore, their arguments do not stand.

**Kazuki:**

We will now hear the affirmative rebuttal speech.

**Kenta (A2 / the Affirmative Rebuttal):**

Thank you, Chairperson. My name is Kenta. I'll rebut the negative side. Their first point was that adopting English as an official language would cause confusion. That's not relevant. It would cause no problem for Japanese people because signs will be displayed in both Japanese and English, for example. They mistakenly believe that Japanese will no longer be used in society if we adopt English as an official language.

Their second point was the cost. It's true, but they are missing the point because it also has merits. It would give translators and interpreters more jobs and contribute to the growth of the Japanese economy. In fact, the high cost is a big advantage.

Therefore, their arguments must be wrong.

**つながる音**

次に来る語が母音で始まる時、前の語の最後の子音とつながって発音されます。

**n + 母音**

an egg

in it

one of them

up and away

in an hour

**r + 母音**

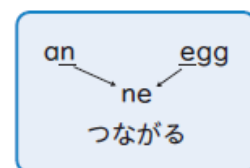
there is

there are

more interesting

far away

cheer up



**聞こえない音**

2語にわたって同じ音や似た音が続く場合、最初の音が聞こえなくなることがよくあります。

hot tea

good day

take care

big guy

want to

brush shoes

some money

with this

つながる音、聞こえない音は、強くはっきり発音されることを意識し、リズムをとりながら文の発音練習をすることで身につきます。常に語句のストレス・パタン、リズム、そしてイントネーションに注意して発音練習をしましょう。

## 別紙 17

### Introduction

#### Key Text 1

#### Key Text 2

### 別紙 17 p. 85 Lesson 11 Introduction

How do you say your name in English? Do you use your given name first and your family name second, or your family name first and then your given name?

Some Japanese people write their names in the former way, such as “Ken Tanaka,” while others adopt the latter way and would write it like “Tanaka Ken.”

Most English-language newspapers, even those issued in Japan, adopt the given-name-family-name order, like “Shohei Otani.” However, the same papers write a South Korean actor’s name in this way, “Lee Min Ho,” or the name of a Chinese female actor and singer, “Fan Bingbing.”

Which way do you think Japanese names should be written?

### 別紙 17 p. 86 Lesson 11 Key Text 1

I strongly believe that we should keep our traditional name order, even in English.

My name is “Kanda Natsumi.” Once, I was very surprised to be called “Ms. Natsumi Kanda.” *Am I a summer orange? No way!* My name is definitely “Kanda Natsumi.” It is true that many Japanese people have adopted the given-name-family-name order in English since the Meiji era, when Japanese society was largely attracted to European cultures. But why have they so easily abandoned their tradition? Have Americans given up their name order? Do they come to Japan and introduce themselves, saying “My name is Jolie Angelina,” or “Hi, I’m Gates Bill”?

We should not change our names, even the order. A name is part of our identity, which should be preserved.

### 別紙 17 p. 87 Lesson 11 Key Text 2

I attach great importance to flexibility. I mean that we should say our given name first, prior to our family name.

I call myself “Mina Saito” when I speak English so that English-speaking people will not misunderstand my name. If I say, “I’m Saito Mina,” many of them might think Saito is my given name and Mina is my family name. Some Japanese people may claim that they can explain the name order, saying, “Saito is my family name, and Mina is my given name,” but should I offer the same explanation every time I introduce myself? That is ridiculous.

Thus, I insist we adopt the given-name-family-name order when we use English. “When in Rome, do as the Romans do,” as the saying goes.

## 別紙 18

### Introduction

#### Key Text 1

#### Key Text 2

### 別紙 18 p. 91 Lesson 12 Introduction

Have you ever heard of “microplastics”? Microplastics are small pieces of plastic less than five millimeters long. They are very small in size, but they pose a very big threat, not only to human health but also to other creatures.

What problems do microplastics cause? In what ways are they harmful? Where can they be found? Are there any solutions? We can see some of the effects of microplastics by looking at the ocean. Actually, the microplastic problem is not new—but we humans have just come to realize the seriousness of this problem recently.

### 別紙 18 p. 92 Lesson 12 Key Text 1

Every year about eight million tons of plastic flow into the ocean. Sea animals are suffering from plastic pollution, but the problem does not stop there, causing even more complicated problems.

First, plastic takes very long to decompose. Plastic items break down many times and turn into very small pieces: microplastics. They are still plastic and are small enough to be consumed by plankton. However, they remain even after the plankton are eaten by small fish, and the small fish are eaten by other marine animals.

Next, microplastics come from everywhere. Even car or bicycle tires, which include a lot of chemicals, release microplastics when they interact with the road surface.

Furthermore, microplastics are said to absorb chemicals like a sponge. They can poison the food chain. When you eat seafood, you may take in microplastics and chemicals.

We still do not know what kind of disturbing problems microplastics might cause in the future. We must take a look at this problem from a broader perspective.

### 別紙 18 p. 93 Lesson 12 Key Text 2

As it is very useful, plastic can be seen in all parts of our daily lives. In hospitals, disposable plastic products are thrown out after a single use to prevent infections. Nowadays, tough lightweight plastics are also used to produce cars. This results in improving gas mileage and saving fuel. However, we must not ignore the problems plastic can cause.

It seems impossible to tackle the plastic problem, but nothing will change unless we take action. To reduce the amount of plastic waste we create, more and more shops are using nonplastic containers now. Also, since April 2020, retail outlets in Japan have been required to charge customers for plastic bags.

How about the plastic debris that has already entered the ocean? A Dutch engineer, Boyan Slat, founded an NPO at the age of eighteen to clean the ocean. His organization has also made products using plastic from the Great Pacific Garbage Patch (GPGP). All of the proceeds go towards the cleanup. In this way, they are trying to break a vicious cycle.

We are at a critical point of no return. Some people have already started taking action. However, that's not enough. Additional action is needed.

別紙 19

Step 1

Step 2

別紙 19 p. 100 Creative Writing: Haiku Step 1

Old pond — frogs jumped in — sound of water.

*Lafcadio Hearn* (ギリシャ生まれのイギリスの作家; のちに小泉八雲と名乗る)

The old pond;

A frog jumps in —

The sound of the water.

*R. H. Blyth* (イギリスの日本文化研究家)

The ancient pond

A frog leaps in

The sound of the water.

*Donald Keene* (アメリカの日本文学翻訳家)

別紙 19 p. 101 Creative Writing: Haiku Step 2

a May shower —

falls on summer oranges

ripening them

a dwarf azalea

crimson petals

two butterflies

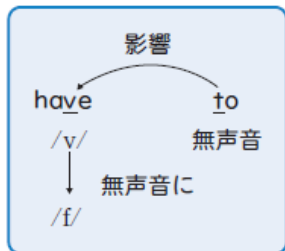
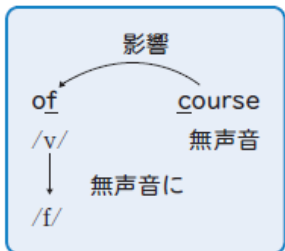
同化する音 1

普通で話しているとき、口の中では既に次の音を作る準備が進んでいます。そのため、次に来る音の特徴が前の音に影響を与えて、前の音の特徴を同じように変化(同化)させることがあります。

**/v/ → /f/**

of      of course  
/əv/    /əf kɔ:rs/

have    have to  
/hæv/   /hæf tu/



他の例

/v/ → /f/

I've kept the secret to myself.  
You've tried that, haven't you?  
They've published the book.

/z/ → /s/

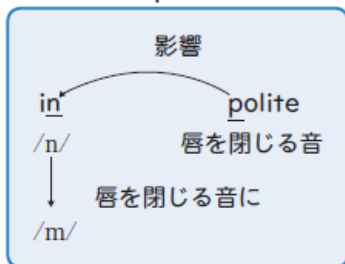
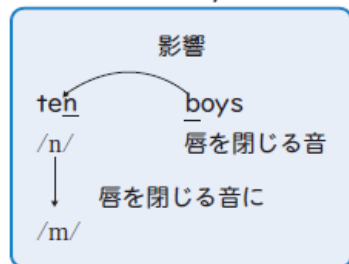
has to    newspaper  
Spring has come.  
He has traveled around the world.

ten は単独では /tén/ と発音しますが、ten boys を自然な早さで発音すると /tém bóiz/ になります。これは、次に来る /b/ の音の準備で唇を閉じていることから、/n/ の音が実際には唇を閉じて発音される /m/ に変わるためです。このような発音の仕組みが反映されて、December, member, temple, impolite など、/b/, /p/ の前に m の文字が来る語が多いことにも注目してみましょう。

**/n/ → /m/**

ten boys

impolite



他の例

/n/ → /m/

golden bell    human body  
certain point    foreign policy  
impossible    improbable

反対に、前の音はその次の音に影響を与えて同化させることもあります。複数の -s の読み方が有声音で終わる語につくと /z/ になるのは、その一例です。

/s/ → /z/

-s



#### 他の例

/s/ → /z/

bicycles    dogs    doors  
fans    songs

/d/ → /t/

cooked    helped    hopped  
missed    mixed

#### 同化する音 2

自然な英語の流れの中で、隣りあった音が影響しあって新しい音になることもあります。

I'll miss you.

/s/ /j/ ↓  
/ʃ/

raise your hand

/z/ /j/ ↓  
/ʒ/

aren't you

/t/ /j/ ↓  
/tʃ/

And you?

/d/ /j/ ↓  
/dʒ/

同化する音 1 も同化する音 2 も、p. 82 で学習したつながる音や聞こえない音と同様に、強くはっきり発音されることを意識し、リズムをとりながら文の発音練習をすることで身につきます。常に語句のストレス・パタン、リズム、そしてイントネーションに注意して発音練習をしましょう。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表  
(外国語(英語)音声に係るもの)

番号	ページ	行	ウェブサイトを参照させる手段 (URL、二次元コード等の別)
1	9	2-3行	二次元コード
2	13	2-3行	二次元コード
3	17	2-3行	二次元コード
4	24	見出し	二次元コード
5	27	2-3行	二次元コード
6	31	2-3行	二次元コード
7	35	2-3行	二次元コード
8	42	見出し	二次元コード
9	44	見出し	二次元コード
10	47	2-3行	二次元コード
11	53	2-3行	二次元コード
12	62	3-4行	二次元コード
13	64	見出し	二次元コード
14	67	2-3行	二次元コード
15	73	2-3行	二次元コード
16	82	見出し	二次元コード
17	85	1-2行	二次元コード
18	91	1-2行	二次元コード
19	100	3-4行	二次元コード
20	103	見出し	二次元コード